

第32回 社会福祉士国家試験 合格者の声

「人の役に立ちたい」「海外で学びたい」を実現します！

平田 花 さん(健康福祉学科4年／広島県立広島特別支援学校 I 類型出身)



Q1 なぜ、ソーシャルワーカーをめざしたのですか？

高校生の頃ダンスサークルに所属していました。メンバーの悩みごとの相談を受けた際に、ただ頷くことしかできない自分に無力さを感じていました。「一人ひとりの笑顔を引き出したい」「より広範囲で支援ができるようになりたい」と思うようになったことが、ソーシャルワーカーをめざしたきっかけです。

Q2 受験勉強の思い出

国家試験に向けて勉強を始めた当初は、問題の解説を読んでも全く理解できませんでした。しかし対策講座や模擬試験を通して、知識が身に付いてきて、だんだん楽しくなっていました。不思議と勉強を苦に思ったことはなかったです。また先生方の優しくも厳しいご指導が、とても大きな原動力になりました。

Q3 これからの目標、夢

まず今後の活動を広げていくために、就労移行支援事業所で IT スキルを身につけたいと思っています。いずれは相談支援業務に就き、利用者が笑顔で楽しく生活していけるよう、一人ひとりの能力を引き出すことのできる、そんなソーシャルワーカーになりたいです。

Q4 後輩たちへのメッセージ

過去問題や模擬問題集などを繰り返し解くことも大切ですが、自分に合った勉強方法を確立することが重要です。そうすれば周りに惑わされずに、集中して取り組むことができると思います。

何事も諦めずにやり続けたら、いつかきっと実を結ぶ時がきます。



平田さんの勉強ノートは付箋がびっしり。努力の成果物です。

社会福祉士の国家試験を受けた後、2月14日に母校(広島特別支援学校)のPTA進路学習会で講演をしました。



第22回 精神保健福祉士国家試験 合格者の声

施設や福祉士が必要とされない温かな社会をつくりたい

三木 陽地 さん(健康福祉学科4年/広島国際学院高等学校出身)



Q1 なぜ、ソーシャルワーカーをめざしたのですか？

幼い時に大きな手術をし、入退院を繰り返していた時に心が不安定になった時期がありました。漠然と同じような状態の方の支えになりたいと思うようになりました。祖母が民生委員をしていたこともあり、話を聴くうちに福祉に魅了されていき、心理を専門とする福祉職である精神保健福祉士になりたいと考えました。

Q2 受験勉強の思い出

あまり点数が伸びない時期が続きましたが、急にスイッチが入るタイミングがあり、そこからは一回聴いた言葉や読んだ文章がスラスラと頭に入るようなモードになりました。その時期に苦手だった科目を徹底的に攻略していった、そこからは模擬試験で高得点が取れるようになっていきました。

また点があまり取れない時期にも「自分は絶対に合格できる」と思いながら勉強を続けました。試験直前になっても「ここまで勉強して落ちるはずがない」と思い、焦らずポジティブに心に余裕を持って臨んだことが、結果として良かったのだと考えます。

Q3 クラブ活動(野球部)との両立は？

野球部では、練習が終わるのが遅く、遠征も多かったことから、勉強時間を確保するのが難しかったです。少し

空いた時間や遠征先のホテルでも勉強できるように、大切なところや年代などを Word でまとめて常備したり、家のトイレの壁に貼って憶えるなど、様々な工夫をして効率よく覚えるコツを掴むことができました。

そして授業の内容やテスト対策について、自分で調べたことを周りの野球部員にわかりやすく伝えることを通して、自分自身にとっても復習になり、より深く覚えられるようになりました。

野球部では、人の為に行動することや上手い出来ない時の対処法、本番前の心構えなど、大切なことを学ぶことができました。野球部に所属していたことが、とても大きなメリットになったと思っています。

Q4 これからの目標、夢

これからは、人のために動き、誰かの人生に良い影響を与えられるような人間になります。そしてソーシャルワーカーとしては、現在のように施設や福祉士が必要とされない温かな社会づくりに貢献したいです。様々な状態の方と関わる中で、結局は人と人との関わり合いであり、「みんな同じ人間である」という福祉の本質を忘れず、何歳になっても勉強をし続けていきます。

Q5 後輩たちへのメッセージ

自分はやる気が出ない時に勉強してもあまり効果が出なかったので、思い切って何もしない日、何もしない週を設けて、遊びに行ったりゆっくりと過ごしたりしました。国家試験の受験勉強では、ON と OFF の切り替えが、とても重要になってきます。また、同じ勉強方法だけに固執すると飽きるので、テレビや YouTube で福祉関連の動画を観たり本を読んだり、工夫をしてモチベーションを高く保つように心掛けていました。

模擬試験でいくら点数が取れていても、本番で取れないと意味がありません。油断せず頑張ってください。また、学生の時しか本気で勉強する時間は与えられませんし、今頑張った分だけ自分の自信になり、今後の人生のプラスになります。周りに流されず、自分の芯・軸を持って頑張ってください。